



森下さち子ニュース

【2010年2月号】和歌山市鳴神 1145 - 6 Tel. 474-6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel. 435-1113

〔小学校給食 民間委託問題〕

子どもや孫に安全で安心できる給食を！

引き続き、3月議会でも

精いっぱいとりくみます！

〔続報〕小学校給食 民間委託問題

1月号でお知らせした、小学校給食の調理業務と洗浄業務の民間委託は、現在52校のうち、10校が実施されています。市教育委員会は44校の単独調理校(自校方式)のうち2分の1に当たる22校について、民間委託を計画しています。この4月から実施を予定している小倉・雑賀・高松

の3校の後、残りの17校をどこにするのか、まだ明らかではありませんが、3月議会で示される可能性があります。小倉小学校の育友会で行った説明会では、栄養士が常駐していること、非常時の参集場所でないこと、建物が古いところなどを選定した理由としてあげていましたが、この3つの基準が民間委託に必要な条件であるかどうか



子どもや孫に安全で安心できる給食を食べさせたいから：

学校給食は法律に基づいて、特に衛生面において、特に衛生面において、厳格な決まりがありま

1ヶ月が過ぎるのは本当に早いですね。毎月発行のニュース原稿を書いているとそのことを痛切に感じます。また、一つ年を重ねるごとにその感覚はますます強くなります。

ちまたではアンチエイジングが大流行ですが、とった年の分だけ、物事に対する見方や考え方が広く、深くなると思えば年をとることも悪くないと思えます。若いときにはできなかったことや思い至らなかったことが分かるようになったと、そんな年のとり方をしたいと思う今日このごろです。

(さち子)

互いの仕事が縦横に積み

こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



県は新卒者の雇用情勢が厳しさを増すもとの、高卒予定者の就職希望者の多くが未就職となることから、県で100人ほど臨時雇用することを発表しました。

原則6カ月、最長1年とし、2月中に各高校でニーズ調査を行い、学校長推薦により選定するとしています。県内各地の県施設、教育施設での補助業務を行い、正規の職につくことを前提とした「つなぎ雇用」と説明しています。

2010年の春闘が始まっていますが、くらしと雇用の破壊をこれ以上許さないとりくみが求められています。この10年間に働く人の職場は減り、給料は下がり続ける一方で、大企業の利益のため込みは200兆円から400兆円へと倍増しています。これを少し吐き出して雇用の拡大と給料の引き上げに回せば、日本経済の立て直しにもつながると日本共産党は主張しています。

県会議員 ふじい健太郎

生活相談

重ねられ、受け継がれてきたからこそ、子どもたちは毎日温かく美味しい給食を安心して食べることができています。

(裏面へつづく)



随時、受け付けています
市役所控え室
Tel. 435・1113
毎水曜日
午後1時～4時
花山の森下事務所にて
Tel. 475・8122

「給食問題」3月議会は正念場 議会傍聴にもお越し下さい！

残る疑問：なぜ民間委託？

これまでで行っていた、栄養士と調理員との連携が、実施されれば偽装請負になる「民間委託」という形態で本当によいのでしょうか。

なぜ、民間委託なのか、なぜ、半分の2校を実施するのかなど、多くの疑問を残したまま、2010年4月から小倉・雑賀・高松の3校が新たに実施されようとしています。しかし、正式に決定するのは3月議会の予算審議を経た後、本会議で議決するという手順を踏んでからになります。

私は再度3月議会でこの問題に取り組みたいと考えています。

全力でがんばります！



吉田まさや
参議院和歌山選挙区
予定候補
(党県国政対策委員長)

みなさん、こんにちは！
今年の参議院選挙・和歌山選挙区で立候補を予定している吉田雅哉と申します。

私はこれまで、青年の雇用アンケートによる実態調査と労働条件の改善の取り組みをしてきました。青年の多くはパートやアルバイトなど非正規雇用で給料は年収200万円以下です。雇用破壊は深刻であり、「正社員の雇用を増やして欲しい」「最低賃金を引き上げて欲しい」という願いは切実です。この願いを実現するため「労働者派遣法」を改正し「働くルール」を確立することが必要です。

大企業の利益を優先する政治を転換するためには、企業・団体献金を受け取らず、大企業に堂々ともが言える日本共産党が参議院選挙で前進することがカギを握ります。参議院選挙での前進目指して全力をつくします。

みなさんのご支援をよろしくお願い申し上げます。

県庁北別館に障害者雇用支援の店舗 なかまの作った商品の購入をぜひ！！

県議団に用があり県庁へ行った際、久しぶりに共同作業所で働く指導員の顔を見ました。聞けば作業所で作った商品を県庁内で売ることになったとのこと。そういえば新聞で報道していたなあと思い出しました。商品はお惣菜、パン、クッキー、パウンドケーキなど多彩です。夕方でお腹が空いていたこともありパンを3つ買いました。



雇用破壊が深刻な中、政府の雇用対策は待ったなしの課題です。特に障害のある仲間の雇用は並大抵のことではありません。障害の有無や性別、年齢などで雇用に差があってはなりません。また、就職を希望するすべての人が安心して働ける労働環境を整備することは経済対策としても有効です。

県庁付近へ行くことがあれば、ぜひ、なかまのお店に立ち寄ってください。

お知らせ

障害者認定に内部疾患（重度肝臓機能障害）が入ります

4月から身体障害者手帳を申請する対象者として、重度の肝臓機能障害をお持ちの方が新たに追加されることになりました。申請用紙と医師の診断書などが必要ですが、

◇問い合わせ◇

和歌山市障害福祉課
Tel 435・1060

申請は2月1日から受付が始まっています。

おつきく なあれ

下さんちの
元若（ん
成長日記

4月から高校の授業料が無償化されるということで、県市立校は事務手続きに追われているようです。高校進学率がほぼ100%であることから無償化はもっと早くから実施されるべきでした。OECD諸国中、教育費の高さは韓国に次いで日本は2位子育てにお金がかかるというそのほとんどは教育費が占めています。従って親の経済力により教育が左右されざるを得ず、不本意ながら退学を余儀なくされる、あるいは卒業できても大きくのしかかる奨学金の返済が暮らしを圧迫しています。これはもはや先進国とは言えません。

元哉もこの4月から3年生。大学進学を希望していますが、入学金や授業料を考えると頭の痛いところですね。教育はすぐに結果が出るものではありません。しかし、学んだことやそれに伴う様々な経験は、色々な場や形で生きてくる。それが教育の真髄と言えます。教育にとだけ力を注ぐかで、その国や自治体の姿勢が分かると言っても過言ではないと思います。